

募集 障がい者の職場実習生募集

【目的】

障がいのある人の職場実習を行い、その成果を広く企業などへ啓発することにより雇用の促進を図る。

【対象者】 ※①～④をすべて満たす人

- ①市内在住の人
 - ②障がい者手帳（身体・療育・精神）をお持ちの18歳以上の人
 - ③伊賀管内の障がい者施設などに通所しており、一定期間、施設などの指導員の付き添いが可能な人
 - ④自宅と市役所の往復が可能な人
- ※家族の送迎を含む

【募集人数】 1人

【実習期間】

7月1日(金)～11月30日(水)

【実習内容】

封筒・用紙へのゴム印の押印、廃棄書類の分別などの事務補助

【実習形態】

原則、1日あたり6時間の週4日勤務（平日のみ）とし、施設などからの指導員が職場での支援を行います。

【実習生手当】 3,530円/日

【募集期間】 5月9日(月)～31日(水)

※申し込み多数の場合は選考します。
※申請書などの提出書類は、障がい福祉課に設置のほか、市ホームページからもダウンロードできます。

【申込先・問い合わせ】

障がい福祉課

☎ 22-9657 FAX 22-9662

お知らせ アライグマの捕獲について

特定外来生物法の改定により、アライグマ防除実施計画による対象生物の防除期間が延長されましたので、引き続き防除実施計画に基づくアライグマ捕獲従事者の登録を受け付けます。

アライグマ防除実施計画に登録すると、わな猟免許（狩猟免許）がなくても、適切な捕獲と安全に関する講習を受けることでアライグマのみ捕獲が可能になります。

【手続方法】

捕獲に必要な講習を開きますので、希望する人はご連絡ください。
※手続の際、印鑑を持参してください。
※講習を受けた人には、従事者として従事者証を交付します。

【有効期間】

交付日～平成25年3月31日

【檻の貸出】

従事者として登録された人で、捕獲檻の貸し出しを希望する人には、捕獲檻の貸し出しも行います。

※貸出期間：2週間

【問い合わせ】

農林振興課鳥獣害対策室

☎ 43-2303

FAX 43-2313



お知らせ 障がい福祉サービスの利用について

障がいのある人が、訪問による居宅介護を受けたり、施設への通所や入所などのサービスを受ける場合、障害者自立支援法に基づく手続きが必要です。

【主なサービスの種類】

○介護給付

居宅介護（ホームヘルプ）・行動援護・児童デイサービス・短期入所（ショートステイ）・重度訪問介護・療養介護・生活介護・共同生活介護（ケアホーム）・施設入所支援・旧法施設支援

○訓練等給付

共同生活援助（グループホーム）・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援

○地域生活支援事業

移動支援事業（ガイドヘルプ）・地域活動支援センター事業・日中一時支援事業

【更新手続き】

すでに「障害福祉サービス受給者証」の交付を受けている人に、更新のための書類をお送りしますので、期日までに手続きを済ませてください。

【問い合わせ】

障がい者相談支援センター

☎ 26-7725 FAX 22-9662

障がい福祉課

☎ 22-9656 FAX 22-9662

各支所住民福祉課

『十七文字の贈りもの』 —伊賀沖森文庫の世界— 発行

沖森文庫とは、伊賀上野で古書店を営むかたわら郷土史家としても活躍された沖森直三郎氏により蒐集された芭蕉翁や伊賀に関する俳諧資料のことをいいます。市では、同氏の没後、故人の遺志を継ぎ貴重な資料を保存管理するため、ご遺族の承諾を得て平成17年にこれを譲り受けました。

【内容】

《松尾芭蕉と伊賀俳諧を知るための11話》
今こそ学びたい、芭蕉と伊賀の文化をわかりやすく解説

《沖森文庫目録》

沖森直三郎氏による俳諧コレクションを紹介

【販売価格】

1,500円
※限定800冊

【販売開始日】

5月16日(月)

【販売場所】

井筒屋書店・井筒屋書店あかもん店・岡森書店・グリーンモールオカモリ・宮脇書店（伊賀上野店）・芭蕉翁記念館・企画課

※郵送による販売を希望される場合は、お問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】

企画課 ☎ 22-9662
FAX 22-9628

このたび、沖森直三郎氏の顕彰はもとより、文学的遺産ともいえる沖森文庫資料を市民の皆さんに紹介し、多くの人に親しんでいただくとともに、学術研究にも役立てることができるよう解説本として、『十七文字の贈りもの—伊賀沖森文庫の世界—』を発刊します。



**募集 子ども健全育成施策
検討委員募集**

市では、子ども読書活動推進計画などを検証していただくため、公募委員を募集します。

【募集人数】 2人以内

【応募資格】

- ①市内在住の満20歳以上の人（市議会議員および市職員は除く。）
- ②市が設置する審議会および市の附属機関の委員でないこと。
- ③7月1日における年齢が70歳未満であること。

【任期】 2年（7月1日～平成25年6月30日）

【報酬】 市の規程に基づく

【開催回数】 年2～4回程度（原則、平日の昼間2時間程度を予定）

【応募方法】 子どもの健全育成や読書活動推進に対する思いなどを応募動機として800字以内（様式は自由）にまとめ、住所・氏名（ふりがな）・生年月日・性別・電話番号を記入の上、郵送・Eメール・持参のいずれかで提出してください。

【応募期限】 5月30日（月）※必着

【選考方法】 作文審査・面接

【応募先・問い合わせ】

〒518-8501

伊賀市上野丸之内116番地

伊賀市教育委員会生涯学習課

☎22-9679

✉gakushuu@city.iga.lg.jp

募集 フープブーン教室

【とき】

6月3日・10日・17日・24日・7月1日・8日・15日・22日の毎週金曜日

午後7時30分～8時30分

【ところ】

城東中学校体育館（印代450番地）

【対象】 小学生以上

【講師】

体育指導委員
福岡 和代さん



【内容】

フラフープを使用したエクササイズ

【定員】 40人

※定員を超えた場合は抽選します。

【参加料】

500円（傷害保険料を含む）

【申込方法】

はがき・FAX・Eメールで教室名・住所・氏名・電話番号を記入の上お申し込みください。

※Eメールの場合はタイトルに必ず教室名を明記してください。

【申込期限】

5月26日（休）午後5時

【申込先・問い合わせ】

〒518-8501

伊賀市上野丸之内116番地

伊賀市教育委員会スポーツ振興課

☎22-9680 FAX 22-9692

✉sports@city.iga.lg.jp

**募集 産後ママの
リフレッシュタイム**

【とき】

5月27日（金）午前11時～正午

【ところ】

青山保健センター運動施設

【対象者】

産後3カ月～約1年くらいまでの母親

【内容】 ヨーガ

【定員】

15人 ※先着順

※同時に託児も受け付けています。（要予約：定員あり）

【参加費】 500円（施設入館料）

※施設を初めて利用される人は、当日までに利用講習会を受講してください。詳しくはお問い合わせください。

【持ち物】

室内用運動靴・運動できる服装

【申込受付開始日】

5月9日（月）

【申込先・問い合わせ】

青山保健センター

☎52-2280

献血のご案内



●5月26日（木）

午前9時30分～10時30分
青山公民館

明日に 向かって
～差別をなくしていくために～

人権意識を変えていくには

— 農林振興課鳥獣害対策室 —

■このコラムは毎回いろいろなテーマで人権についてお話しています。

鳥獣害対策室では、アライグマをみなさんの協力によって捕獲し、処分しています。アライグマは北アメリカ産で、本来日本には住んでいなかったにもかかわらず、ペットとして日本に持ち込まれたものが、捨てられたり逃げ出したりして野生化しました。そして、農作物を荒らし、時には家屋などに被害を及ぼすために駆除されています。同じ命でも動物園では可愛がられ、農地などでは嫌われものになっているわけですが、もとをたざせば、人間の心ない行動がもたらした結果です。

では、人間社会はどうでしょうか。その人の生まれや置かれている立場・環境によって、人の価値を判断していないのでしょうか。おかしいとか不合理だと感じる事があれば、私は地元の人権地区別懇談会で話合っています。この人権地区別懇談会は、それぞれ人権に対する思いを持っている仲間と細々と始めましたが、今では区の重要な行事として定着しています。

しかし、始めたころは、「人権やるもんは、先生と役場職員ぐらい。あいつらそれが仕事やから…」と、まる

で人権は他人事だというような声も聞こえてきました。

最初は、講演会やビデオ視聴など「聞くだけ」「見るだけ」の人権研修をしていました。これからの人権地区別懇談会をどう進めていけばいいのか話し合ったところ、当時、人権モデル事業の推進が盛んだったので、人権モデル地区の指定を受けたらどうか、という意見が出ました。そして、「人権意識を今すぐ変えるのは無理かもしれないが、少なくとも我々自身のリーダー研修になるからやろう。」と立候補したのです。モデル地区に指定された後は、組織的な活動を大切にして、区の人権推進委員研修・人権フィールドワーク（現地研修）・人権地区懇などの事業を進めてきました。外部から招いた講師に頼るのではなく、区民が自分たちの身近な問題を提起して、グループ討議を行っています。

今後も、『笑いのある楽しい地区懇にする』『身近な人権課題を取り入れる』『部落問題の解決に向けた展望を明らかにする』ことを意識して進めていきたいと考えています。

■ご意見などは人権政策・男女共同参画課 ☎22-9631 FAX 22-9649 ✉jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ